

# 日刊 勤労千葉

38. 7. 22  
No. 2860

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

7. 22 松崎講演演会「弾効！」

河野をはじめとした  
不良職制の組織破壊を  
断じて許さない！！

七月二二日、松崎「講演会」が千葉市内で開かれようとしている。徹底弾効あるのみだ！

彼らの目的は、東鉄労千葉の組織率が助役等を含めても五〇％にも到らない惨状に松崎が業をなやし、自ら千葉に乗り込み「住田」の威をかりて「気合いを入れる」というものである。

「河野車務課長を見習え」「なりふりかまわず動労千葉、国労を切り崩せ」と、職制、助役のしりをたたくのが主目的であることは明らかである。われわれはキツパリと断言しよう。やれるものならやってみろ！その時こそが積もり積もった怒りを解き放つときだ。

組織破壊に手を染める者は一人たりとも許すな！革マル分子でなければ、東鉄労でも許されるのか！トンデモない。松崎を頭目にして悪虐・非道を重ね、すでに二〇〇名の仲間を自殺に追い込んでおいて「私は関係ない」「仕方なく入っている」などということがあるか！「認められるか！階級的裏切者、自民党支持を打ち出している転向集団！動労革マル、鉄道労連解体は労働者・人民大衆の義務であり、絶対的課題である。怒りを新たに、四波のスト貫徹の力をうち固め全国の怒りの先頭に立って奮闘しよう！

## 破産した革マル鉄道労連の「願望」

松崎の「早急に一企業一組合を実現」「組織率七五％達成」の願望と予想は、事実が示すとおり見るも無残に破産し、今や醜悪な内部対立・抗争を繰りひろげている。（革マル、鉄労、旧国労、助役など）彼ら利権屋集団の対立と危機を促進しているものこそ、動労千葉の熱い団結と四波のスト決起、国労組合員の現場での奮闘、一五〇〇名を上まわる国労復帰の前進、動労総連合の不屈の組織的前進等のたまたかによることは明白である。会社当局の先兵・右翼ファシスト御用組合どもに負けてたまるか、というのはごく当り前の労働

者としての立場であろう。

革マル分子は、行きづまりの危機を打開しようとますます凶暴にあがくことは必至である。すでに東鉄労大会（六・二八〜二九）では、松崎自ら「毅然たる態度をとらない者（鉄労など）は切れ！」と革マルとしてのセクト主義をむき出しにしている。

このことは、彼ら自身が闘う人民・大衆の怒りの炎に油を注ぐことであり、鉄道労連解体のたまたかの飛躍のチャンスを迎えていることをはつきりと宣言できる。

過去と現在の一切の組織破壊攻撃（動労千葉、総連合、国労への）は、革マル鉄道労連が当局と結託し、現場管理者、助役のしりをたたき、権力を楯にしてすすめていることは周知の事実である。その不法・不当性はこの間の「日刊」で三号にわたり墨露・断罪してきたておりである。彼らの手口の汚さを、卑劣さは、日本労働運動史上でさえ例を見ない極悪・非道なものである。

われわれは、解雇者、清算事業団の仲間達のかやしさを再度わがものとして受けとめ、首切り、強制配転の張本人！革マル鉄道労連包囲・解体を腹の底から決意しきろうではないか。

## 募 集

8・6 広島 原水禁  
8・9 長崎 集会への

動労千葉派遺団員を  
ひろく募集します。

希望者は教宣部まで